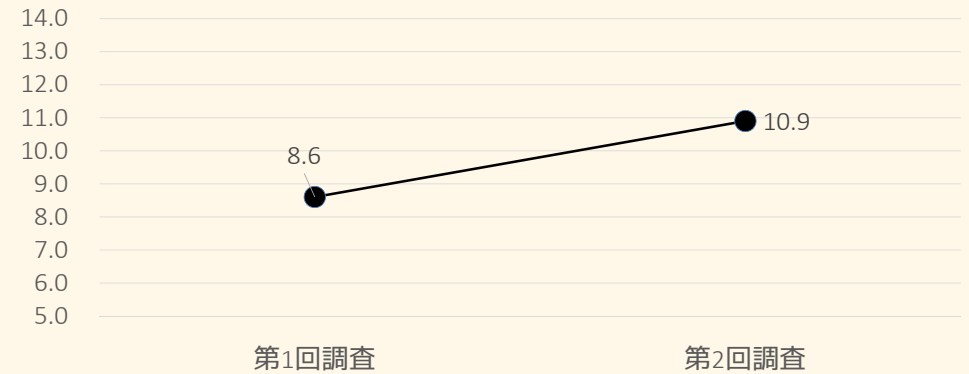


【報告】 国立教育政策研究所の調査研究事業における 成果の紹介

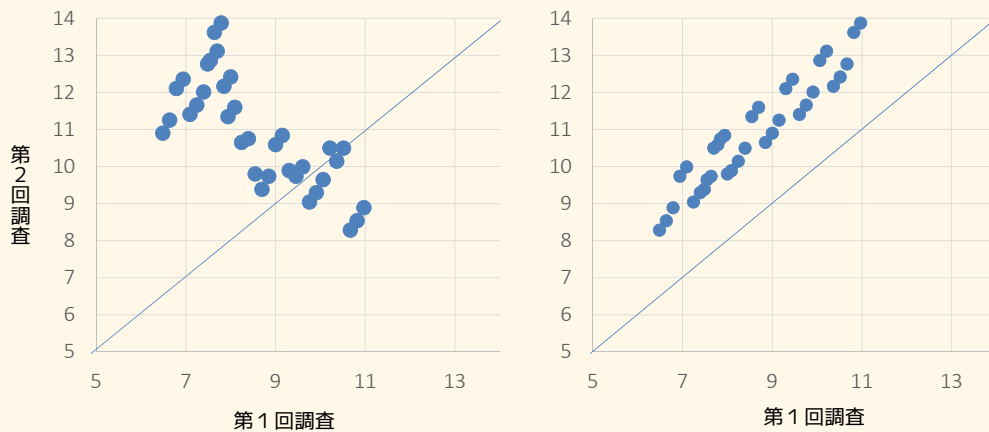
生徒指導・進路指導研究センター
 研究員 立石 慎治

先生なら、このグラフをどう捉えますか？

とある35人クラスにおける基礎的・汎用的能力の推移

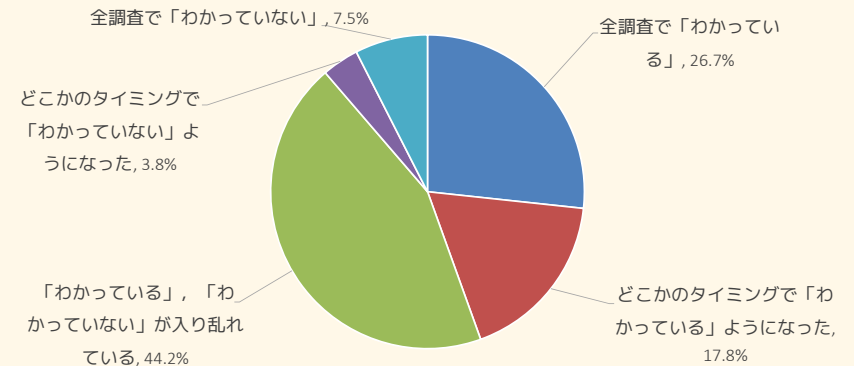


この2つのグラフが出てきた時にどのように捉えますか？



3年間を追った実際のデータで見えてみると……

- 高校普通科の生徒を3年間追ったアンケート（全6回）の質問項目の中で、「職業や働き方を選ぶ際に、どのように情報を調べればよいかわかっている」がどう推移するかを追うと……



カリキュラム・マネジメント

- 「カリキュラム・マネジメント」の三つの側面
 - ② 教育内容の質の向上に向けて、**子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき**、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日）、24ページ
- 第1章 総則 第1の4
 - 各学校においては、**児童（生徒）や学校、地域の実態を適切に把握し**、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、**教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと**、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、**教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと**（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。
『小学校学習指導要領』及び『中学校学習指導要領』（平成29年3月）、いずれも4ページ

新シリーズ「キャリア教育リーフレット」



高校生の頃にしてほしかったキャリア教育って何？

- こんな経験はありませんか？
 - キャリア教育に熱心に取り組んでみたものの、児童生徒の反応が今ひとつで、手応えに欠ける……
 - 大切な内容を扱っているのに、児童生徒はどうやら意義を実感していない……
- アンケートへの回答を組み合わせてみると、どうやら次の三つのタイプに分けられるようです。
 1. すぐに「役立つ」と感じられる学習内容
 2. 時間がたってから「役立つ」と感じられる学習内容
 3. 「取り組んでおきたかった」学習内容（≒経験する機会がなかったけれど、指導してほしいと思った内容）

報告から基調講演，指定討論会，そして明日の部会へ

- 今回御紹介した報告書，支援資料は次の二つです。
 1. 『再分析から見えるキャリア教育の可能性－将来のリスク対応や学習意欲，インターンシップ等を例として－』
 2. キャリア教育リーフレット1「高校生の頃にしてほしかったキャリア教育って何？」
⇒いずれも生徒指導・進路指導研究センターウェブサイトよりダウンロード可能です。
- 基調講演，指定討論会にかけて，これからのキャリア教育について理解を深めて参ります。
- 明日の部会も，引き続き，これからのキャリア教育を展望しつつ協議への参加や講習を受けて頂ければ幸いです。